

# ザルツブルク・モーツァルテウム大学教授 バーバラ・ドブレツベルガー博士 音楽分析特別セミナー

2026年5月20日(水)

14:45-16:20(4限) / 16:30-18:10(5限)

会場：東京学芸大学 芸術館 学芸の森ホール

音楽分析は、演奏解釈において、また教材研究において不可欠な視点です。この度、本学の研究協定校であるモーツァルテウム大学の教授をお招きして、音楽分析特別セミナーを行います。今回は、アート・アスレチック教育センターCAAAEの教育プロジェクトで取り組むL. v. ベートーヴェンの第9交響曲「合唱」を取り上げます。どなたでも聴講できますので、どうぞ積極的にご参加ください。(通訳付き)



## Prof. Dr. Barbara Dobretsberger

オーストリア、リンツ出身。ウィーン大学にて哲学博士号（音楽学）を取得。ザルツブルク・パリスロドロロン大学修士課程修了（音楽学）、ザルツブルク・モーツァルテウム大学修士課程修了（音楽教育学）、同大学で2003年に教授資格を取得。20世紀の音楽を専門とし、P. ブレーズのピアノ・ソナタの楽曲分析で学位を取得。ヨーロッパ各地、中国などで講演を行い、多数の著作・論文のほか、ザルツブルク音楽祭などのプログラム解説やCDライナーノートの執筆も行っている。2025年に続き9度目の来日。東京学芸大学アート・アスレチック教育センター専門研究員。

### L. v. ベートーヴェン：交響曲第9番 二短調 作品125 「合唱」

本年度、アート・アスレチック教育センターは、本学学生・教員と地域のみなさまとで、ベートーヴェンの第9交響曲「合唱」の全曲演奏会プロジェクトを実施する予定です。これに先立ち、作品の理解を深めるために、「第9」の受容の歴史（4限）と、終楽章の楽曲分析（5限）を実施いたします。

企画・通訳：中地 雅之（音楽科教育学研究室）

主催：東京学芸大学音楽科教室

共催：アート・アスレチック教育センター CAAAE



HP



Instagram



X